

認知症作業療法 活動報告 (概要)

鹿児島県作業療法士会の地域リハ推進部には**2014年**より「かごしま認知症OTネットワーク」という下部組織が配置されており、約**20名**のネットワーク員とともに認知症に関する研修会の実施や地域での催し物への参加などを行ってきました。**2019年**の活動内容としては①認知症アップデート研修(7月)を**1**地区で開催、②生協コープかごしまからの認知症対策に関する依頼などが挙げられます。

認知症アップデート研修事業

かごしま認知症OTネットワーク員に講師をしてもらい、アップデート研修を実施。鹿児島市内の会場で**22名**が参加致しました。

内訳は、経験年数 1~2年目 5人 3~5年目 4人 5~10年目 4人
10年目以上 8人と、10年目以上の方が多く参加されていました。

参加者の感想としては、連携に関するものも多く、「連携が上手く図れず連携方法を教えて欲しい」や「グループワークでの他院での取り組みが聞けてよかった」などの意見が上がりました。

生協コープかごしまへの協力事業

昨年度より、生協コープかごしまから「認知症に負けない暮らし(健康)づくり」とのタイトルで、鹿児島大学保健学科と鹿児島県作業療法士協会が提携し取り組みを行っています。

本年度は、具体的な生活術を冊子にした「暮らしのあれこれヒント集」を作成。鹿児島大学の田平教授を中心に、かごしま認知症OTネットワーク員で作成致しました。

作成過程では、認知症家族の会鹿児島支部に原稿をみて頂き意見をもらいました。完成した冊子には、感想も寄せられています。

また、地方紙(南日本新聞)にも取り上げて頂きました。

「暮らしのあれこれヒント集」をテキストに、生協組合員へ講座を鹿児島県全域で**7回**実施。今後も**2回**(離島を含む)予定しております。



今後の展開

- ・ 認知症アップデート研修事業の継続
- ・ 生協コープかごしま協力事業の拡大